

ウクライナ情勢と国内株式市場の動向および今後の注目ポイント

いちよしアセットマネジメント

(発行日：2022年3月14日)

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻とそれに対する欧米諸国の制裁が株式市場のボラティリティを高めています。こうした中、株式市場においては、世界経済および企業収益、そして金融政策の動向に加えて更なる物価上昇がもたらす影響に注目が集まっています。本レポートではウクライナ情勢のこれまでの振り返りと日本株への影響、そして今後の注目ポイントについてお伝えします。

ウクライナ情勢のこれまでの振り返りと国内株式市場の動向

◆2月24日-3月1日 ウクライナへのロシアによる軍事侵攻開始を受け年初来安値に

2月24日、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まりました。対する欧米諸国は26日、経済制裁として一部のロシアの金融機関を国際銀行間通信協会（SWIFT）から除外するとともに、ロシア中央銀行の外貨準備の運用を制限することなどを発表しました。一方でロシアとウクライナの停戦協議への期待から、日経平均株価は3月1日に27,000円台を回復し、持ち直しの動きも見られました。

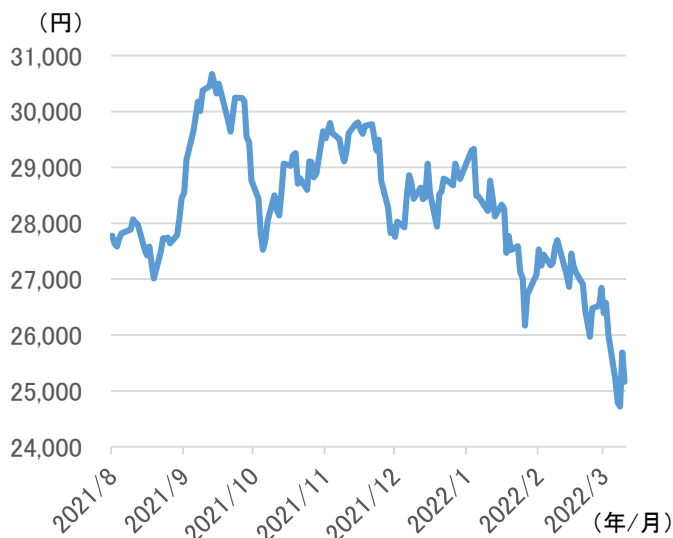
◆3月4日 ウクライナ侵攻の停戦協議にロシア譲歩せず

3月4日、ロシアのプーチン大統領はドイツのシュルツ首相との電話会談で、ウクライナ侵攻の停戦協議を念頭に、「ウクライナ側との対話にはオープンだが、ロシアの要求がすべて満たされることが条件だ」と伝え、譲歩しない立場を強調しました。ロシア軍がウクライナ南東部にあるザポロジエ原子力発電所を攻撃したと伝わると、再びリスク回避の動きが加速し、一時、昨年来安値25,774.28円まで下落しました。

◆3月6日-3月11日 原油輸入禁止措置の検討を受け、1年4か月ぶりの安値を更新

3月6日、アメリカのブリンケン国務長官は「欧州の同盟国・有志国とロシアから原油輸入を禁止する可能性について協調して検討するよう協議している」と述べ、具体的な検討を進めていることを明らかにしました。これを受けて、翌7日の東京株式市場では資源高による世界景気の悪化リスクが意識され、日経平均株価の終値は25,221.41円と1年4か月ぶりの安値を付けました。その後も投資家がリスク回避姿勢を強め、3月9日の終値は24,717.53円と安値を更新しました。

日経平均株価の推移
(2021年8月2日～2022年3月11日)



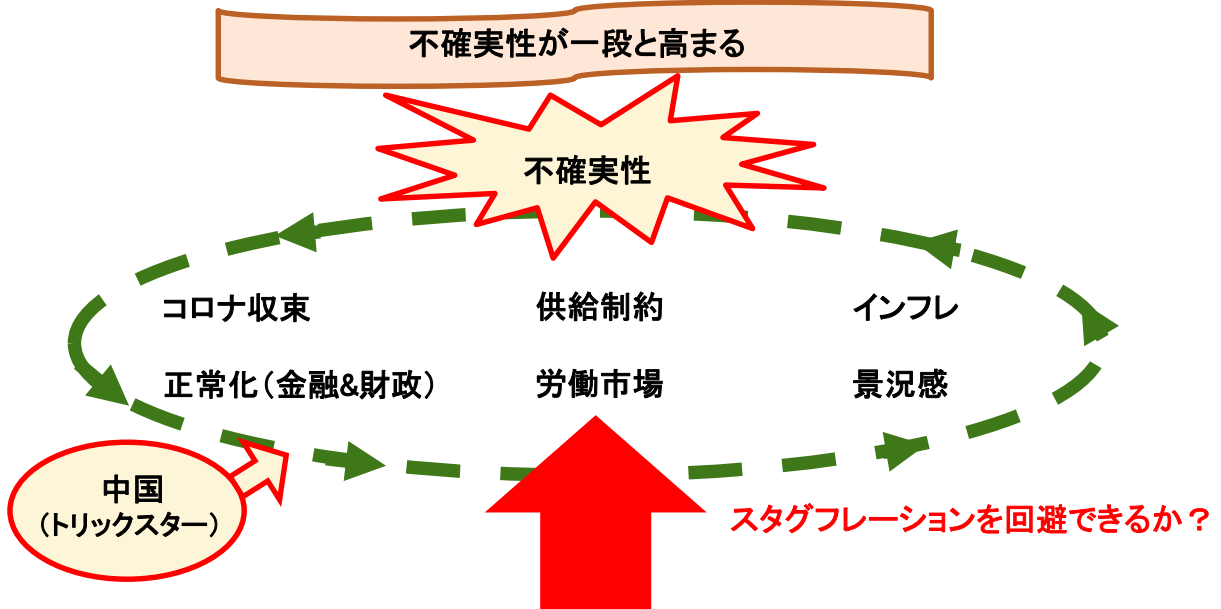
(出所) 右のグラフはQuickよりいちよしアセットマネジメント作成。

◆当資料は投資判断のご参考となる情報提供を目的としていちよしアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。◆当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載は過去の実績であり、将来の成果を示唆、保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

今後の注目ポイント

ロシアのウクライナ侵攻前から、アメリカにおける物価上昇に伴うFRB(米連邦準備制度理事会)の金融政策の先行きに対する不確実性は、株式市場における懸念材料となっていました。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻以降、両国の停戦交渉が進まないなか、原油や天然ガスなどの資源価格によるスタグフレーション(景気が後退する中での物価上昇)を回避できるかが今後の株式市場における注目ポイントとなっています。

他方、日本株についてはTOPIXベースの予想EPS(一株当たり当期純利益)は足元堅調に推移しています。当社は今後の投資戦略として引き続きデジタルトランスフォーメーション、再生可能エネルギー、EV(電気自動車)などの成長テーマを中心に投資機会があると考えます。



ポイント

- ✓金融政策の先行きに加えウクライナ情勢がマーケットの不確実性を一段と高めている。
- ✓新型コロナウイルスの感染状況、インフレ懸念、景況感等の行方にも注意が必要。
- ✓トリックスター(干渉者)として中国の動きからも目が離せない。

※上記図はイメージであり、将来の成果等を示唆・保証するものではありません。
(出所)いちよしアセットマネジメント作成。

『重要な注意事項』

- この資料は投資の参考となる情報の提供を目的としたものであり、個々の投資者の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではなく、また特定ファンドの勧誘資料ではありません。
- この資料は、市場の現状や運用コンセプト等の説明資料の一部としていちよしアセットマネジメントが作成し、提供するものです。未許可での使用、複製の作成や発表は法律で禁じられております。
- この資料は、いちよしアセットマネジメントが信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて同社により作成されたものですが、過去から将来にわたってその正確性、完全性を保証するものではありません。
- この資料に掲載されたデータ・グラフ等は過去の実績またはシミュレーションであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。また、記載された見解等の内容はすべて作成時点でのいちよしアセットマネジメントの判断であり、今後予告なく変更されることがあります。
- 有価証券投資は、株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資運用によって発生する損益はすべてお客様に帰属します。したがって、預貯金とは異なり投資元本が保証されているものではなく、一定の運用成果を保証するものでもありません。